

AI*deation

【 アイディエーション 】

生成AIとSun*独自のフレームワークを活用した事業機会の探索支援

目次

1. 会社概要
2. AI*deationについて
3. AI*deationでの新規事業創造の進め方
4. プラン
5. FAQ
6. Appendix



MAKE
AWESOME
THINGS
THAT
MATTER

Our Vision

誰もが価値創造に 夢中になれる世界

Create a world where everyone has the freedom to make awesome things that matter.

社名に含まれる“Sun”はまさに「太陽」。地球上のすべての生命を育むインフラです。革新的なサービスや、新しいイノベーターの「種」を、私たちの光で照らし、それらを育む最強のインフラになることを目指しています。

Sun*が価値創造をするためのインフラとなることで、全人類が生まれた時から持っているクリエイティブへの情熱を呼び起こし「誰もが価値創造に夢中になれる世界」を実現させます。

Our Mission

本気で課題に挑む人たちと事業を通して社会に ポジティブなアップデートを仕掛けていくこと

Create radical products and businesses with people who actually care about what they do.

“* (Asterisk)”は、多くのプログラミング言語で掛け算を表す記号です。

スタートアップや大企業の垣根を超え、価値創造に最適なチームを編成し、本気で社会課題に挑むヒト・モノ・コトとのコラボレーションを通じて、様々な産業のデジタルイノベーションを促進することで、社会にポジティブなアップデートを仕掛けていきます。

目次

1. 会社概要

2. AI*deationについて

3. AI*deationでの新規事業創造の進め方

4. プラン

5. FAQ

6. Appendix

会社概要

社名
株式会社Sun Asterisk
英語社名 Sun* Inc.

設立日
2013年3月1日

従業員数
約 2,100名
グループ全体

関連会社
Sun Asterisk ： 415+
Sun Asterisk Vietnam ： 1,405+
Sun Asterisk Software Development ： 50+
Sun terras ： 100+
NEWh ： 20+
Trys ： 105+
2024年6月末時点

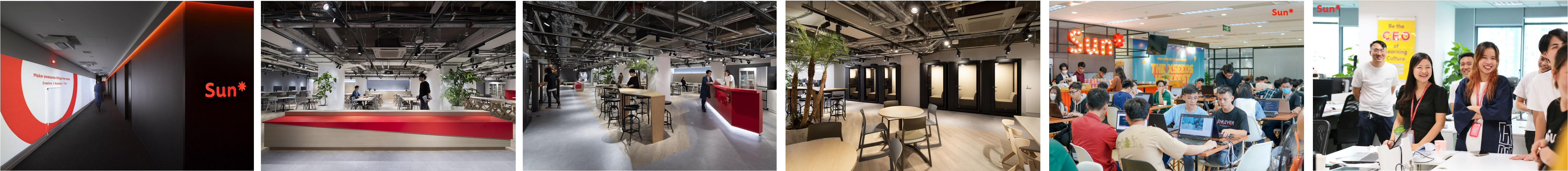
本社所在地
東京都千代田区大手町

事業内容
デジタル・クリエイティブスタジオ事業
4ヶ国6都市に拠点※

資本金等
33億9,419万円
資本準備金含む

売上
125.1億円
2023年12月期実績

※日本（東京）ベトナム（ハノイ、ダナン、ホーチミン）+パートナー拠点 フィリピン（セブ）、カンボジア（プノンペン）



Business, Creative, Technology 3つの視点によるクライアントとの事業共創

多様なバックグラウンドを持つプロフェSSIONナルが多数在籍



プロフェSSIONナル

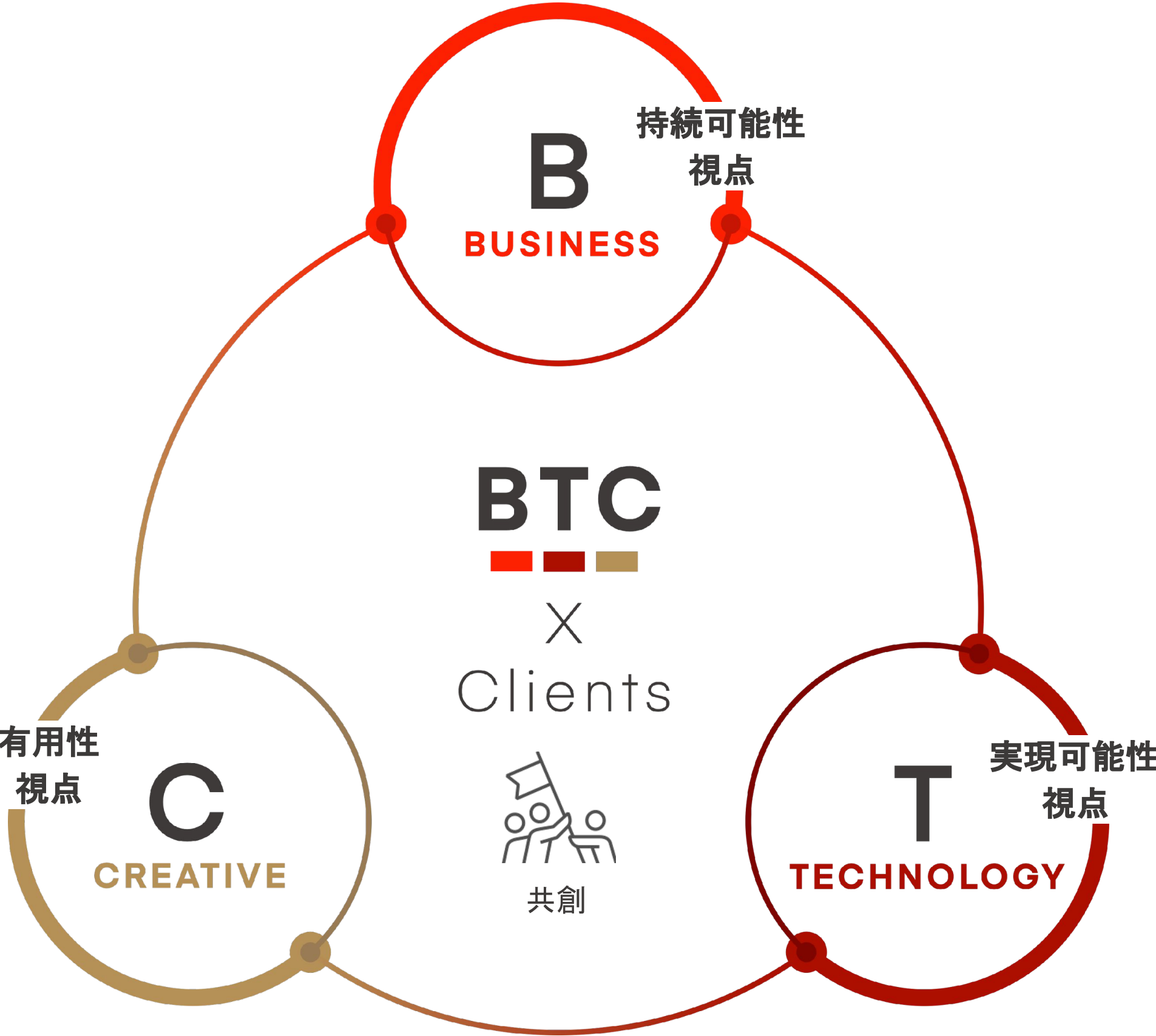
ビジネスコンサルタント	事業開発ディレクター	ビジネスデザイナー
UI/UX デザイナー	UIプランナー	アートディレクター
CTO	プロジェクトマネージャー	フルスタックエンジニア

豊富な実績から蓄積された事業創造に必要な手法・ノウハウ



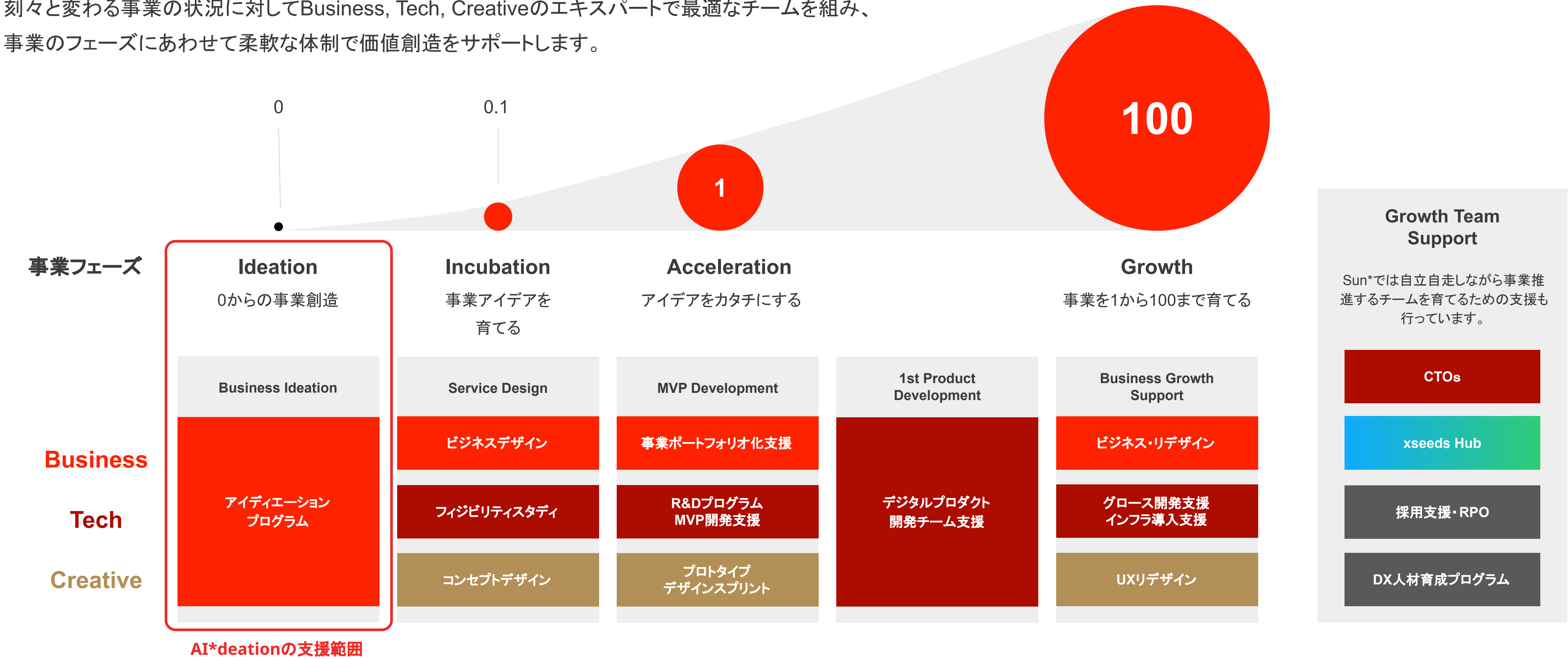
手法・ノウハウ

デザイン思考	リーンスタートアップ	ユーザー中心設計
アジャイル	DevOps	CI/CD
AI	Blockchain	NFT



あらゆる事業の、あらゆるフェーズを伴走するチーム

あらゆる事業創造を0から100のフェーズまで伴走しながら支援します。
刻々と変わる事業の状況に対してBusiness, Tech, Creativeのエキスパートで最適なチームを組み、
事業のフェーズにあわせて柔軟な体制で価値創造をサポートします。



目次

1. 会社概要
2. AI*deationについて
3. AI*deationでの新規事業創造の進め方
4. プラン
5. FAQ
6. Appendix

新規事業創造でこんな課題はありませんか？

As-Is

新規事業プログラムから
なかなか良い
アイデアが出ない

新規事業創造の
ノウハウが属人化していて、
体系化されていない

新規事業の
社内稟議が通らない



AI*deationの 提供価値

AIとの共創によってより早く
より多く新規事業創造の
サイクルを回せる

Sun*のノウハウの詰まった
アプリケーションで
新規事業創出の流れを体系化

必要な論点を抑えつつ
AIと共に
アイデアの具体化が可能

AI*deation

新規事業創造に特化した AIアプリで、アイデア発散・評価・具体化をまるごとサポート



発散

- ChatGPTを活用し
事業アイデアを数百案以上創出
- 求める事業領域に合わせて
AIで高速にアイデア発散

評価・選定

- Sun*独自のフレームワークを使い
事業機会を具体化・詳細化
- アイデアリストを
AIを活用して評価し選定

具体化・検証

- 数多くの案の中から次の事業化に
有望なアイデアを選定
- アイデアをValue Design Syntaxの
形で要素を言語化して検証

Innovation = New Combination (新結合)

ヨーゼフ・アロイス・シュンペーター



AI*deationでは生成AIを活用して
高速かつ大量に「新結合」を発想します。

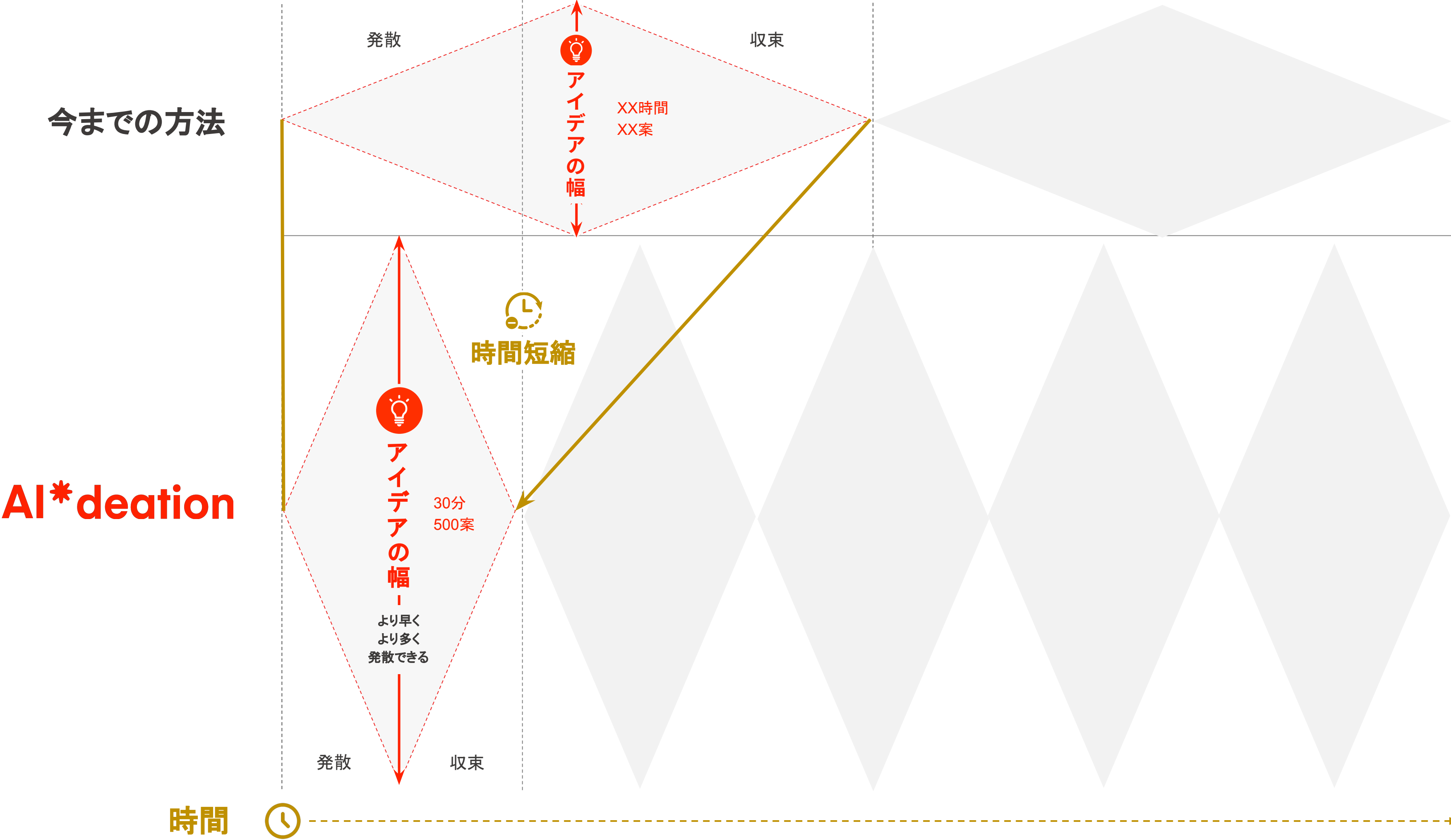


Joseph Alois Schumpeter

1883年2月8日 - 1950年1月8日)は、オーストリア・ハンガリー帝国(後のチェコ)モラヴィア生まれの経済学者。企業者の行う不断のイノベーション(革新)が経済を変動させるという理論を構築した人物で経済成長の創案者としても知られる。

AIが新規事業アイデア創出にもたらすイノベーション

より幅広いアイデアを発散しつつ、1サイクルを短時間で回すことで事業創造のイテレーションを高速化



AI*deationの特徴

500社850プロダクトの
事業支援で
培われたノウハウを提供



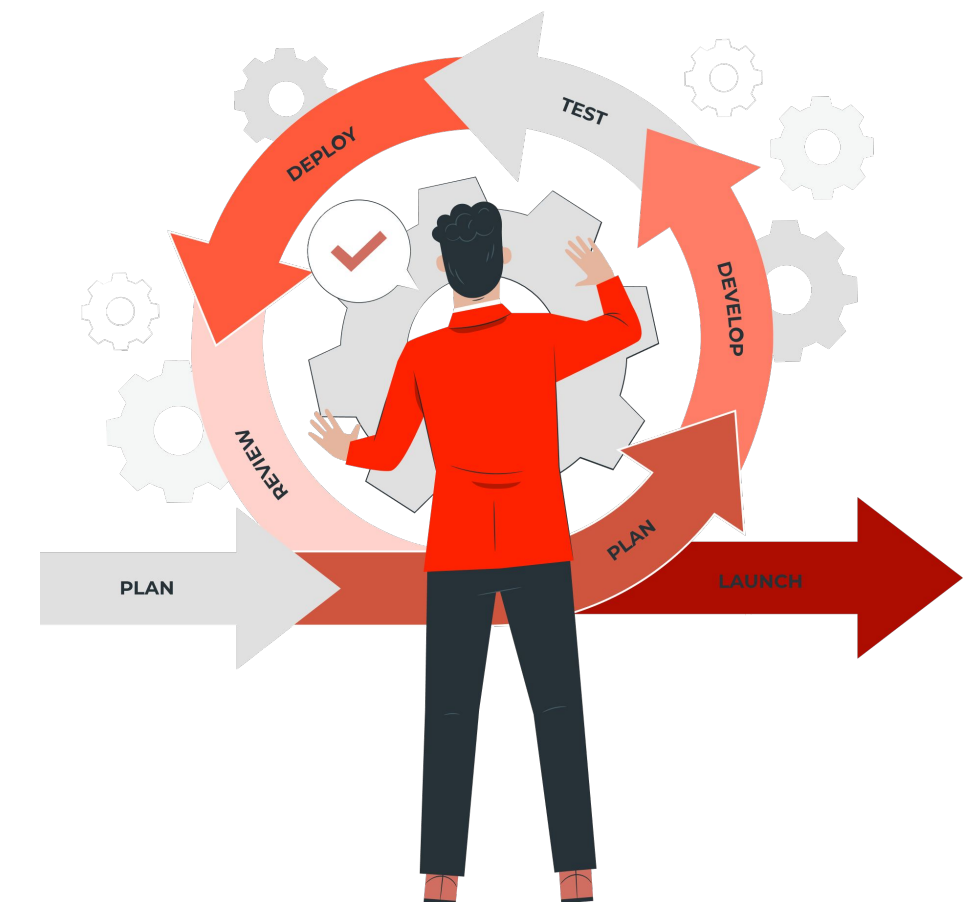
2012年の創業以来、業界・規模問わず、数多くの企業の事業課題に対して伴走型支援を行っています。そのノウハウをAI*deationのプロセスに盛り込み提供いたします。

AIと人間それぞれの強みを
掛け合わせることで、
低コストで事業創造を支援



AIの強みであるインプットされたデータからのアイデア創造や一定基準で評価することと、人間(ビジネスデザイナー)の強みであるアイデアの収束・選定・検証等を掛け合わせることで、事業確度を高めるだけでなく、時間や予算を抑えながら推進することができます。

事業アイデア創造後の
事業化～MVP開発まで
一気通貫でご支援

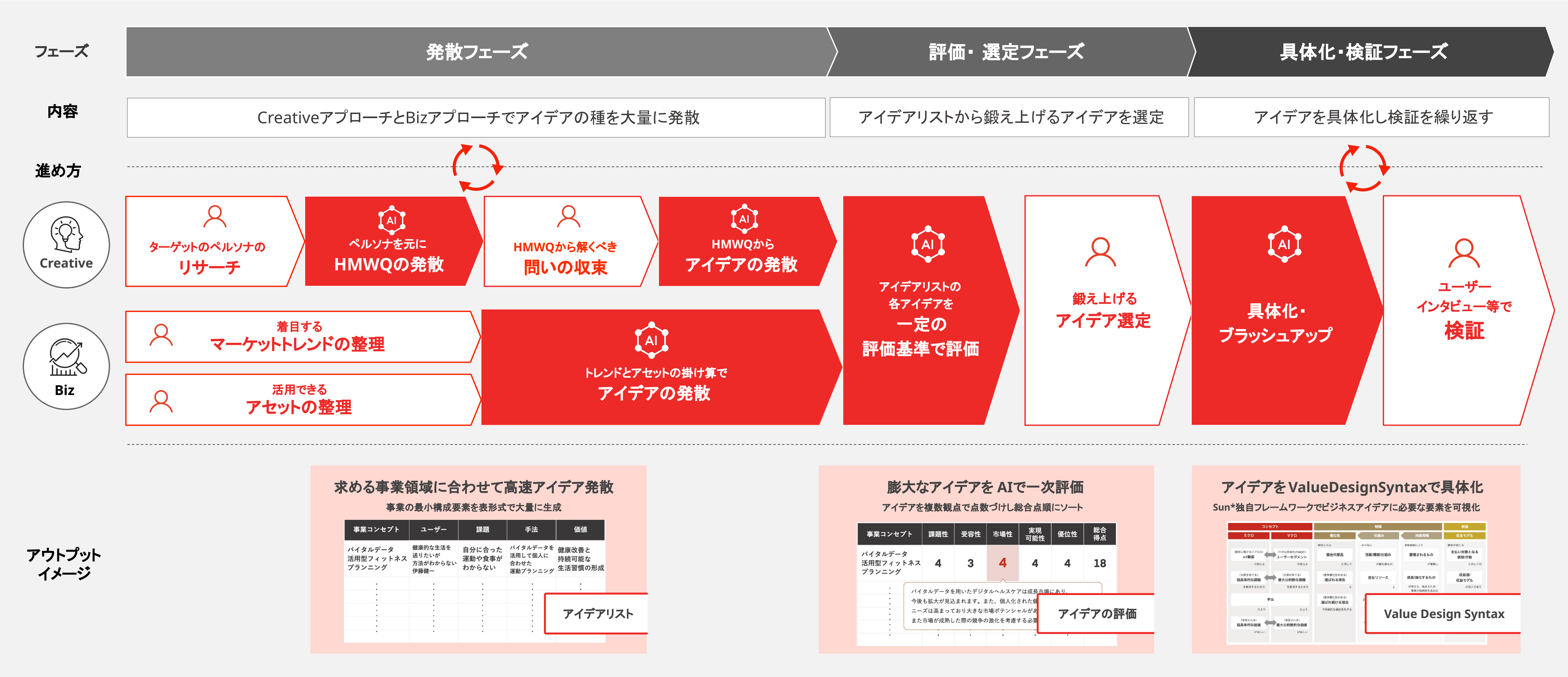


ビジネスデザイナーだけでなく、デザイナー、エンジニア等、多様なスキル・経験値を持ったメンバーが在籍。事業アイデア創造後のプロトタイピング支援から事業グロースまで一貫して伴走します。

目次

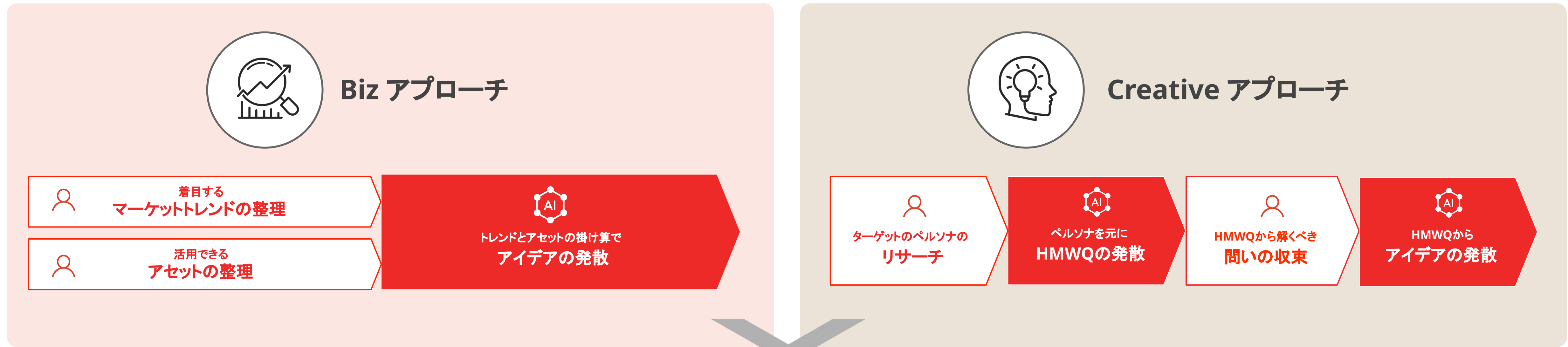
1. 会社概要
2. AI*deationについて
3. AI*deationでの新規事業創造の進め方
4. プラン
5. FAQ
6. Appendix

発散・評価・具体化の各プロセスを AIと人間で共創。AIの支援は専用アプリを活用。



※HMWQ(HMW Question)とは... デザイン思考で具体的な課題を解決するためのクリエイティブなアイデアを引き出すために用いられる問い。
「どうすれば～できるか?」という形で、問題を解決するための具体的な方向性を示しながらも、発想の自由度を保つことが特徴。

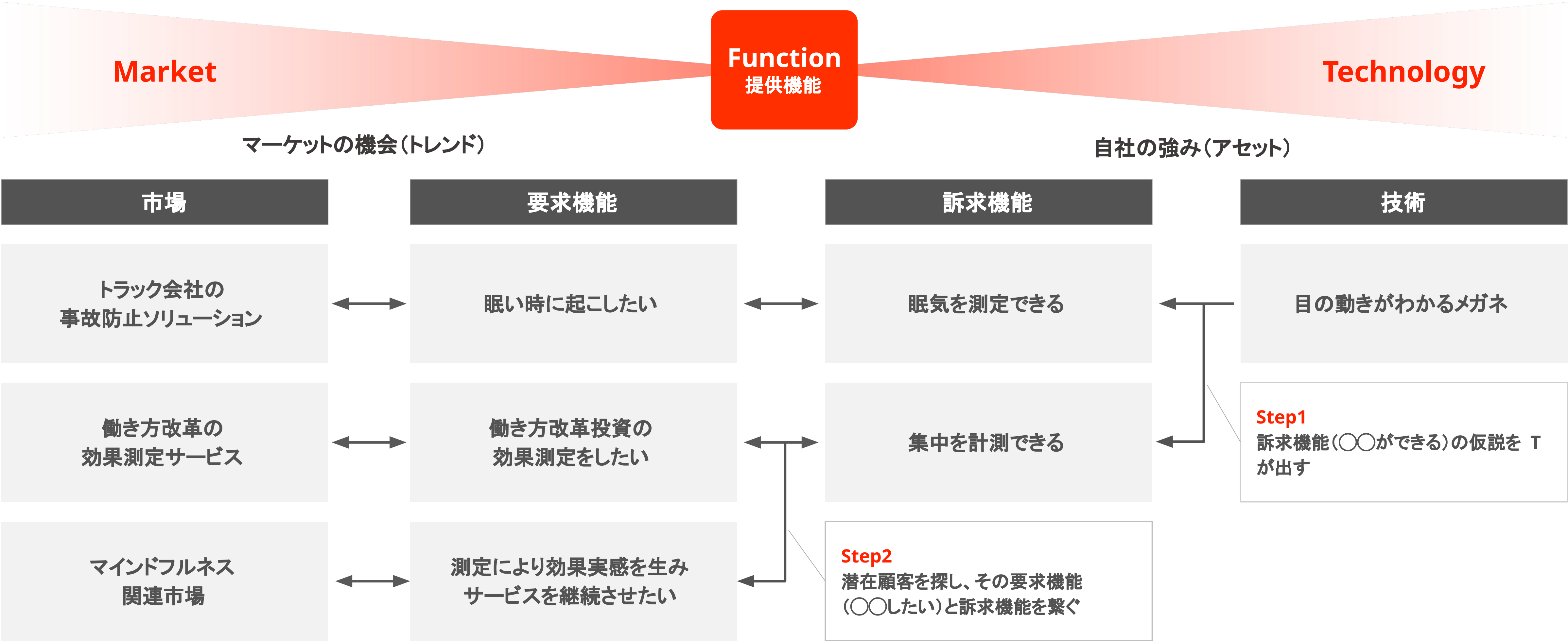
Biz視点とCreative視点の2つのアプローチで高速アイデア発散





BIZ視点による M-F-Tフレームワークの方法論

M-F-Tフレームワークで、市場／機能／技術をつなぐ一本の道全体が事業機会のひとつ





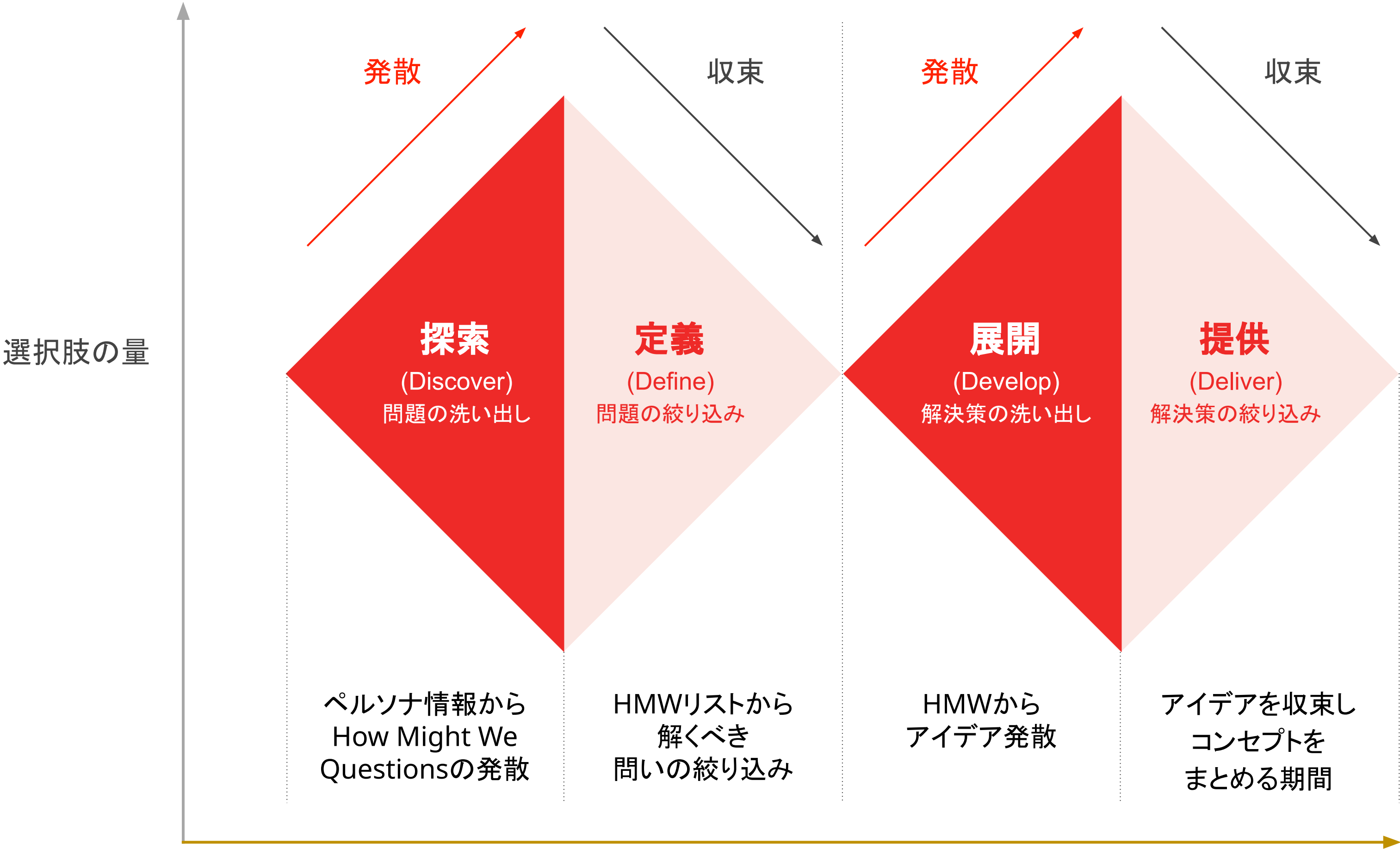
Creative視点によるデザイン思考



正しい**問題**を見つける



正しい**解決**を見つける



膨大なアイデアを AIで一次評価

アイデアを複数視点で点数付けし総合点順にソートします。

アイデアの評価						
事業コンセプト	課題性	受容性	市場性	実現可能性	優位性	総合得点
バイタルデータ 活用フィットネス プランニング	4	3	4	4	4	18
—	バイタルデータを用いたデジタルヘルスケアは成長市場にあり、今後も拡大が見込まれます。 また個人化された健康管理サービスへのニーズは高まっており、大きな市場ポテンシャルがあります。 さらに市場が成熟した際の競争の激化を考慮する必要があります。					—
—						—
—	—	—	—	—	—	—

なぜAIでの一次評価が有効なのか？

AIを活用しない場合



発散したアイデアから
鍛え上げるアイデアを選定する際に...

- 声の大きい人の意見にチームが流されてしまい本当に良いアイデアを選定できているのか分からない
- AIで大量のアイデア発散を行うと、アイデア多すぎて見切れない

AIを活用した場合



AI*deation Appの
評価機能を使用すると...

- 大量のアイデアにAIで客観的に点数付けができる
- 点数順にソートすることで、人間が見るべきアイデアを足切りできる
- 人間が見れる量を気にせず更に追加アイデア発散ができる

VALUE DESIGN SYNTAXを使ってアイデアを具体化・検証

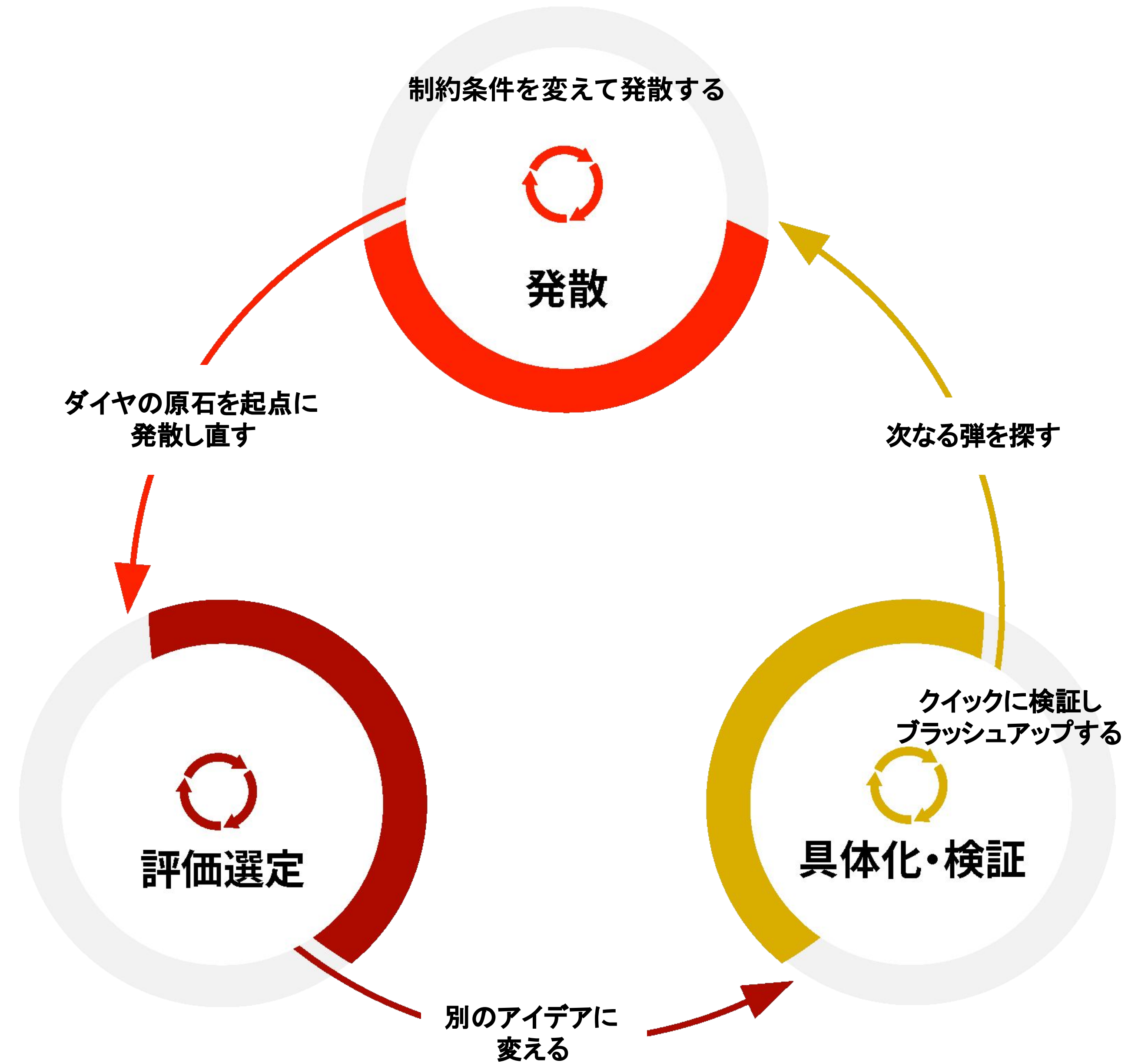


※「Value Design Syntax (バリューデザイン・シンタックス)」は、Sun*グループの株式会社NEWhの登録商標です。

不確実性を下げるためにイテレーションを回す

百発百中はない
掘り進めて何も無いなら戻る

限られたリソースの中で
不確実性を下げていくためには、
イテレーションを高速に回すことが重要



デモ動画

AI*deation App上でどのようにデータを
インプットし、事業アイデアの発散・評価・収束に
つなげていくのか、デモ動画をご視聴になれま
す。

デモ動画の再生はこちら



<https://storage.googleapis.com/aideation-demo-videos/AIdeation.mp4>

発散

×

Home

Persona to HMWs

HMW to Ideas

Trends and Aseets to Ideas

Evaluate Ideas

Idea to VDS

Generate interview scripts

交通管理システムの革新: 都市の交通流をスムーズにするための高度な交通管理システムが開発され、渋滞の緩和と環境負荷の低減が期待されます。

エネルギー管理の最適化: 都市全体のエネルギー消費を管理し、効率的な使用を促進するシステムが導入されています。

安全性とセキュリティの強化: 高度なセキュリティシステムと犯罪防止策が都市の安全を保障します

Press ⌘+Enter to submit form

掛け算一つ当たりのアイデア発散数:

10

10

30

☒ 結果をSlackの に送信

アイデアを発散する

出力結果

今回かかったコスト: \$0.47778999999999994

結果をCSVでダウンロード

	サービスの概要	ユーザー
0	クラウドベースの多言語eラーニングプラットフォーム	自宅で新しい技術や言語を学びたいと考えている山田太郎(30代男性)
1	小規模事業者向け在庫管理システム	地方で小規模な雑貨店を運営している鈴木花子(40代女性)
2	スマートシティデータ分析プラットフォーム	都市開発に関わる佐藤健(40代男性)
3	テレメディシンサービスプラットフォーム	医療アクセスが限られている地域に住む伊藤涼子(30代女性)
4	クラウドベースVRトレーニングツール	現場のスキルアップを図りたい企業の人事部門の田中一郎(40代男性)
5	AIを活用した農業管理システム	小規模ながら効率的な農業を目指す農家の河合美紀(50代女性)

▶ 0:26 / 3:06

目次

1. 会社概要
2. AI*deationについて
3. AI*deationでの新規事業創造の進め方
4. プラン
5. FAQ
6. Appendix

プランについて

3つのプランをご用意

各プラン	ライト	スタンダード	プレミアム
初月 (特別価格)	100万円(税別)	140万円(税別)	要相談 (300万円～) ※3
2ヶ月目以降 (特別価格)	20万円(税別) / 月	60万円(税別) / 月	
10アカウント付与	○	○	○
1dayワークショップ ※1	○	○	○
メンタリングサポート ※2	×	○	○
検証実施等伴走支援 ※3	×	×	○

※1アイデア創出の一連の流れを体感していただくためのワークショップとなります。
※2Sun*のビジネスデザイナーによる月1回のMTGでのコーチング支援を行います。
※3プレミアムプランについては、申込者様と別途お打ち合わせを行い、料金、サービス内容、ライセンス期間等を決定します。

目次

1. 会社概要
2. AI*deationについて
3. AI*deationでの新規事業創造の進め方
4. プラン
5. FAQ
6. Appendix

FAQ

Q アプリだけの使用はできますか？

A ライトプランでも初月はワークショップとセットでのご利用をお願いしております。

Q アプリでアウトプットされた結果はダウンロードできますか？

A CSV形式でダウンロード可能です。

Q Web上にある市場のマクロ環境のデータもクロールさせて発散アイデアに活かすことはできますか？

A アプリ上では行いません。ファクトは人間がインプットする情報として使います。

Q インプットした情報はファインチューニングに使われることはありますか？

A インプットした情報がファインチューニングに使われることはありません。
AI*deation App では、ChatGPTではなくOpenAI のAPIで使用しており、入力データが学習データに利用されないようしております。また、AI*deation内にデータベースはなくデータは保持されない設計になっております。

FAQ

Q アプリのダウンロードは必要ですか？

A Web上で動作するため必要ありません。

Q アプリが動く推奨ブラウザはありますか？

A PC版の最新版のGoogle Chromeを推奨します。

Q インプットする情報はセキュリティ的にはどのように担保されていますか？

A 入力された情報はOpenAIのAPIに送信されますが学習に使われることはありません。

Q 社内業務の効率化などのアイデア出しにも活用したいが、可能ですか？

A 新規事業創出を目的としたアプリのため、そのようなケースには適していません。自社を顧客とした新規事業として考えることは可能ですが性質が異なります。社内業務の効率化に関しては弊社のテックメンバーがサポートいたします。

Q 新規事業を創出できるメンバーが社内に少ないため、人材育成の手段として活用することは可能ですか？

A 可能です。AI*deationは全てをAIに任せるのではなく、AIと人間の共創を目指すものです。その共創の中で人間の成長も促され则认为ます。

目次

1. 会社概要
2. AI*deationについて
3. AI*deationでの新規事業創造の進め方
4. プラン
5. FAQ
6. Appendix

コンサルティングと AIのいいとこどりができます

AI*deationは安価で持続的に利用でき、ビジネスデザインの知見が詰まった他に類を見ないサービスです。

	AI*deation	コンサルティングサービス	AIサービス (ex. ChatGPT)
新規事業創造において 持続的に利用可能な価格設定	○ これまでのコンサルティングサービスより お手頃な価格設定で 持続的な利用をサポートします	×	○
ビジネスデザイン分野の知見	○ Sun*の850以上のプロダクト, 500以上のクライアントの事業支援で 培われたノウハウを詰め込んでいます	○	△
新規事業を自走するための コーチング・メンタリング支援	○ プランによってコーチング・ メンタリング支援で新規事業の自走を サポートすることが可能です	○	×
開発フェーズまでの伴走	○ Sun*は開発までの伴走が可能です	×	×

クライアントの声



株式会社POLA
新市場企画プロジェクト

アイデアコンテストでの社員の創造性が活性化

弊社では全社員を対象に、社員からボトムアップで新規事業に繋がる新しいアイデア発想を募集するイノベーションアイデアコンテストを開催しています。コンテスト応募に向けた様々な支援コンテンツを実施してきましたが、「新規事業・新価値創出にチャレンジしてみたい！...でもアイデアを発想する難しさやハードルを感じて二の足を踏んでしまう...」という社員がとて多いという現実的な課題がありました。しかしAI*deationの支援によって、AIから自分には無かった視点や発想のヒントを獲得出来たという社員の声が多く届いています。そして自分のアイデアを創り上げる過程でヒントがもらえることで、アイデアへの熱量や納得感を高めながらアイデア創出に取り組める社員が増えたように感じています。



株式会社PFU
事業開発本部
次世代事業開発室

事業アイデア実現の蓋然性がより向上できるように

新たな事業を検討する上で事業アイデアの発散や収束のさせ方、事業アイデアの蓋然性の高め方に課題を感じていました。しかしAI*deationの支援で、アイデアをSun*/NEWhのValue Design Syntaxのフレームワークまで落とし込んで具体化することで、事業シナリオが構造化され、そのアイデアのビジネスイメージがつかみやすくなり、アイデアの実現における蓋然性を高められたと感じています。また事業化アイデアの評価軸もご支援をいただきながら検討したことで、アイデアの採点基準が明確になりました。現在も自社内の事業アイデアの収束のさせ方のプロセスの一つとして活用しています。



大手企業J社

AIでアイデアを具体化することでコアバリューの発見に繋がった

新規サービスを設計する際には、企業のパーパス、事業目的、市場動向、顧客の課題など、さまざまな方向性で考慮することになります。そのため、有象無象のアイデアが生まれる中で、最適なアイデアを見つけ出し、選択するのは難しい課題でした。しかし、AI*deationの支援によって、各アイデアをAIがサービスの詳細や中長期戦略に展開し、関連情報を明確にすることができ、その上でステークホルダー間の議論ができたことによって、本当に目指すべきサービスのコアバリューを発見し、定義することができました。

Thank you!